

## ◆インターネット活用教育実践コンクール実行委員会賞◆

〈社会教育部門〉

## 「高校生と地域のシニアとの交流」

私立滝高等学校

〒483-8418 愛知県江南市東野町米野1

## ■実践事例報告の概要

自律した高校生を育成するため、課外活動として、高校生がすべてを運営する地域のシニアのためのパソコン・インターネット講座を2年半継続している。地域のシニアは、ITスキルを受け取り、高校生は地域のシニアからいろいろな社会的資源を受け取る。募集からお菓子の種類の選定まで、すべてが高校生の自主運営である。その活動の中で、高校生が社会に目を向けながら自律的に物事に対応する力が養成されればと願うばかりである。

## 実践のねらい

中学生および高校生の自律性の育成が狙いであり、普通の授業の中では社会、特に、地域社会に目を向けた「学び」を行うことは少ない。シニアの募集から講座実施までをすべて生徒の自主運営に任せることにより、いろいろな困難に直面する中で、生徒たちの自律性が育成される。

資源を吸収しようとしている。

- ・テキスト作成から交流会のお菓子の選定まで、生徒の手作りである（資料）。
- ・教師側は生徒の動きをチェックして適度に助言を行う程度の関りである。

## 特徴・工夫・努力した点

- ・中学生・高校生のメディアコミュニケーション部の生徒の自主運営である。
- ・講座は月1回、年間計画のもとに進められている。
- ・シニアとの交流の中で、生徒はシニアの社会的

## 実践内容

詳しい内容については、<http://www.taki.ed.jp/senior/> に掲載している。

2000年度に9回、2001年度に9回、2002年度に11回、本年度も6月から3回の講座が開催されている。講座内容も、Word講座、Excel講座、インターネット講座、クリスマスカード作成、年賀状作成、自分史WEBページ作成など、毎年いろいろな内容である。



## 資料・生徒手作りのテキスト



## FDの入れ方

1. フロッピーをコンピュータの差し込み口に挿入する。



2. 「カチッ」と音がするまで、奥に押し込む。



## FDの取り出し方

1. FDのアクセスランプが点灯（点滅）していないことを確認して、「取り出しボタン」を押す



1回の講座は、受付（土曜日の午後2時）から始まり、1時間半のうち前半の講座、30分の交流会、1時間半のうちの後半の講座となっている。

前で説明する生徒、シニアと1対1の指導者となる生徒、お茶・お菓子の準備する生徒を、シニア交流部隊の長（本年度は中学3年の女生徒）が調整している。教師はこの長からの悩みをいろいろと聞くのが楽しい。

## 実践結果

実践内容で述べたとおり、今では、生徒の完全な自主運営となっている。中1および高1から入ってきた生徒も、シニア交流を経験するにつれて自律的な行動がいかなるものかを身をもって経験する。そのため、行動様式も徐々に変化してくる。

たとえば、講座での指導も堂々としており、指導者の対応に関しても、講座終了後の反省を生徒間のメーリングリストで集約するため、お互いの不足している点を十分に把握するようになっている。

また、今では、シニアからの電子メール、メーリングリストからの質問、お便りにも余裕をもって返答している。

このように、自律的に動くことがいかなることか、あるいは、個人がどのように動くと組織がどうなるかを、生徒たちは理解しつつある。

## 考察（今後の課題）

今後の課題としては、以下の点があげられる。

- ・シニアとのいっそうの交流があれば、さらによいと思われる。
- ・今一度、初心に戻って、自律とはいかなるものかを考えてほしい。
- ・海外で同様の活動をしている台湾の中・高校生とも連携を深めたい。
- ・技術的には、動画の編集などを取り入れて、WEBの活性化を図ってほしい。

